



2024年11月13日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者 代表取締役社長 東 勤
(コード番号 2058 福証)
問合せ先 専務取締役管理部部長 松久保 稔
(TEL 099-273-3859)

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,750	百万円 12	百万円 54	百万円 1	円 銭 0.40
実績値(B)	7,335	169	213	157	39.95
増減額(B-A)	585	157	159	156	
増減率(%)	8.7	—	295.2	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期第2四半期)	6,346	△8	42	△25	△6.52

2025年3月期第2四半期(中間期)個別業績予想と実績値との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	経常利益	中間 純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,440	百万円 206	百万円 162	円 銭 41.13
実績値(B)	4,892	337	312	79.09
増減額(B-A)	452	131	150	
増減率(%)	10.2	63.8	92.8	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期第2四半期)	4,144	234	165	41.92

2. 業績予想と実績値との差異の理由

当第2四半期（中間期）連結会計期間の業績につきましては、原材料、エネルギー価格等の高騰によるコスト上昇の影響はあったものの、インバウンド需要増加の影響や新規販売先の開拓、付加価値の高い製品群の販売増加などがあったことから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は業績予想を上回りました。

個別業績につきましては、原材料、エネルギー価格等の高騰によるコスト上昇の影響はあったものの、付加価値の高い製品群や海外向け製品の販売数量が増加したことから、売上高、経常利益及び中間純利益は業績予想を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後の動向に応じて業績予想に変更が生じた場合は適切に開示いたします。

以上